

Letters from Oregon

2015.12.10

11月は私にとってイベントだらけでした。まずホストマザーが誕生日だったので家で盛大な誕生日パーティーが開かれました。日本だとお母さんが誕生日でもここまで大きなパーティーを普通開かないので驚きでした。会社の同僚や友達が次から次へと家に入ってきてとても賑やかでした。みなさんととても優しくて私に（どこから来たの？）などたくさんお話ができて楽しかったです。また当日は立食パーティーだったので食べやすいお料理が並んでいました。

たくさん人が来ると聞いていたので、せっかくの機会に日本のお料理もたべてもらおうと思い私はお好み焼きを作りました。ただアメリカでこんなにお好み焼きの材料を買うのに苦労するとは思っていませんでした。まず豚肉がどこにも売っていなかったのが代わりにベーコンで対応しました。またお好み焼きのソースも見当たらず、日本の調味料といえばお醤油かワサビしかなくソースだけ買いに2時間バスに乗り買いに行きました。日本だとどこにでもあるのが当たり前で最低でもコンビニにはありますが、アメリカはほとんどコンビニもないのでこの機会にとっても文化の違いをととても痛感しました。苦労して作っただけに、みなさんから好評だったのが嬉しかったです。

そして次の週には日本でのお正月にあたる *Thanks giving* があり、またそれも初めて経験することばかりでした。メインのお料理はターキーでその日は朝食を食べず2時からテーブルに並んだたくさんのお料理を食べました。日本で言うおせち料理だと思いますが、そんなに手が込んでいるものではなく、ターキーの他パイやポテトです。とても美味しいのですが、大量に作る所以その料理は1週間続きました。これも伝統だそうです。



そして *Thanks giving* で一番興味深かったのがマザーの姉が一生懸命ターキーに手を入れて1本の骨を取っていたことです。それは「*wish bone*」といい願いが叶う骨だそうです。これを取るもの伝統だと聞きやはり日本と違う文化がたくさんあるなと感じました。ふとした瞬間やこのようなイベントで感じる文化の違いや考え方がとても面白く、本当に聞いたこともない存在も知らなかったものと出会った時の衝撃は計り知れないです。日本での知らない物に出会うことがありますアメリカは私の予想を超えていくのでとても楽しいです。

（社会システム学科2年次生 H.N.より）